

# 一般質問通告書 12月議会

令和6年12月4日

番号	件名	氏名
1	全国原子力発電所立地議会サミットに参加し、資源エネルギー庁を訪問して町の考えを問う	海下 竜一郎
2	室津地区の県道改良工事および上関福浦地区の県道拡張について	古泉 直紀
3	むつ市のリサイクル燃料備蓄センターの事業開始について	古泉 直紀
4	移住定住対策について	清水 康博
5	中間貯蔵施設計画をめぐる合意形成について	山戸 孝
6	実効的な避難計画の策定や避難場所の確保について	山戸 孝
7	空き家の更なる利活用のために	秋山 鈴明
8	公有財産で自治体自らが稼ぐ	秋山 鈴明

5人8件

## 定例会一般質問通告書

令和6年第4回上関町議会定例会（12月）

◆質問者1 海下 竜一郎	
質問事項	質問要旨
全国原子力発電立地議会サミットに参加し、資源エネルギー庁を訪問して町の考えを問う	10月31日より開催された全国原子力発電所立地議会サミットに参加し、意見交換し、様々な意見を国の方に伝えて来ました。知見を高めるために、現在行われている茨城県東海第二発電所への視察に加え、今後どこかのタイミングで住民に対して国を交えた説明会が必要と思いますが、町長はこうした国に対するアプローチをどのように考えるかお伺いします。
◆質問者2 古泉 直紀	
質問事項	質問要旨
室津地区の県道改良工事および上関町福浦地区の県道拡張について	現在、室津地区において県道改良工事が行われており、旧フェリー基地から西山精肉店までの道路は道幅が狭く、カーブが複数あり、非常に危険な場所であり、優先的に開通すべきであるという声を多く聞きます。当該区間の道路はほぼ完成しているように見受けられるが、開通を行う事は可能でしょうか。 また、上関の福浦小規模老人憩いの家付近の県道も幅員が狭く、桜祭りの時は大変な渋滞が発生します。当該箇所の工事は町として要望は出されているのか、また町内の狭隘な箇所に関して町長はどのように考えておられるのかお伺いします。
むつ市のリサイクル燃料備蓄センターの事業開始について	今年の11月6日、国内初の中間貯蔵施設となるリサイクル燃料備蓄センターが、むつ市にて事業を開始した。この事業開始を受けて町長はどのように受け止めているか。
◆質問者3 清水 康博	
質問事項	質問要旨

<p>移住定住対策について</p>	<p>来年度の予算編成の基本的な考え方の一つに、【「定住対策」として、定住環境の整備、子育て世代への支援】というものが掲げられています。上関町の特色を出せるか、上関町を選んでもらえるかという観点も大事であると考えます。以上を踏まえ、質問します。</p> <p>①町長はこれまで定住対策について既存事業、新事業、数々の施策を実行してこられたと思うが、この2年での手ごたえや成果は。</p> <p>②総合計画や総合戦略で掲げた目標値に向けて各事業を進めておられると思うが、目標を立てたまま未実施の施策も見受けられる。どのように評価されるのか。</p> <p>③上関町の周辺自治体のなかには、「使用済み核燃料の中間貯蔵施設が仮に近くに建設されると、移住定住政策にも影響がでる」と懸念されている首長もおられるが、町長は現状こういった懸念はもたれているか。</p>
<p>◆質問者4 山戸 孝</p>	
<p>中間貯蔵施設計画をめぐる合意形成について</p>	<p>中間貯蔵施設計画について、施設そのものについてと、適切とは言えない合意形成へのプロセスについての2つの問題があると考えています。今回は合意形成へのプロセスについて考えを問います。</p> <p>①これまでの進め方や情報公開のありかたには問題があると思うが、町長の考え方は。</p> <p>②中国電力による視察の実施状況や参加者数などを町は把握しているか。していないのであれば、その理由は。</p> <p>③上関町が結論を出す前に周辺自治体の意見を聞くことは考えているのか。</p>
<p>実効的な避難計画の策定や避難場所の確保について</p>	<p>上関町地域防災計画は、令和6年3月に改定されていますが、各地域の具体的な避難計画の策定には至っていないように見受けられます。各地域の自治会や消防団などとも連携して地域の実情に応じた実効性のある避難計画の策定および、避難場所の確保が必要と考えますが、町の考えをお尋ねします。</p> <p>また、回転備蓄（保存期限の近づいた保存食を消費し、新しいものを備蓄すること）の取り組みは町民の</p>

	<p>防災意識を高めるうえで有効だと考えます。すでに取り組みられていると聞きますが、町の考えをお尋ねします。</p>
<p>◆質問者5 秋山 鈴明</p>	
<p>空き家の更なる利活用のために</p>	<p>①第二期上関町総合戦略では、5年間で空き家バンクのマッチングを20件と設定され、実績値は13件となっています。達成率6割というところで、評価や要因等どのように分析されているか、同時に、今後の改善点についてPDCAに則り議論できればと思います。</p> <p>②空き家バンクに登録されても、修繕が必要なケースが多く、即入居できない物件が多いことがあげられます。そこで、DIYにチャレンジしやすい環境づくりを提案します。(1)家主に対し空き家バンク登録を促していくため、また利用促進のため、空き家を利活用した事例を広く周知する(2)工具のレンタルや技術をサポートする地域のチーム作り(3)改修機関中、生活拠点を別に構えるための“お試し住宅”の整備 について、実現可能か、その上で“手持ちのカードの中で、空き家の利活用がどうすれば進むか”という議論をできればと思います。</p>
<p>公有財産で自治体自らが稼ぐ</p>	<p>①今後人口減少していく中で、縮小の議論と住民合意をどう具体的に進めていくのかお伺いします。</p> <p>②また、国は公共施設・公有財産を活用し自治体自らが稼ぐという事も推進しています。本町においても公有財産で稼ぎ、維持管理費の足しにしていくような自立的なあり方が求められると思いますが、町はこの点についてどうお考えでしょうか。</p> <p>③自らが稼ぐという視点では、風力発電に取り組まれています。これ以外に何かビジョンがありますでしょうか。</p>